

卒業式「校長のことば」（概要）

秦野高等学校長 神戸秀巳

355名の卒業生の皆さん、そしてご列席いただきました保護者をはじめ関係者の皆様、ご卒業、誠におめでとうございます。

卒業を迎えた皆さんが入学した平成26年に、私は第29代校長として着任しました。皆さんとともに、秦野高校での3年間を過ごしてきました。「生徒は未来である」との信念から、入学式で、『二十年後のしかるべき日本の姿を思い描きながら、「人を育て」「社会を育て」「未来を育てる」学校づくりを進める』と宣言しました。

そして、皆さんへの想いをこめて、「土台作りの大切さ」「過去は変えられないけれども、現在と未来は変えられる」「前進のためのキーワード＝“本気”“実践”“気づき”」の3点について、話をしました。

大きくてりっぱな木は、間違いなく、しっかりと太く根がはっています。目に見えにくい「地面から下」を育てる土台作りが、高校の3年間だと伝えました。そして、自分の人生と直面し、「未来への扉」を自らの力で押し開けることで、これまで見えていなかったワクワクした世界が次々と現れる。その結果、今後の人生が大きく面白く変わる可能性がたくさんある、と皆さんにエールを送りました。

さて、秦野高校での3年間を振り返って、どうだったでしょうか？「どうせ」「しょせん」の言葉を口にせず、「ひょっとしたら」「もしかしたら」と、前のめりの生活を送れたでしょうか？

皆さんが在籍したこの3年間は、秦野高校にとっても大きな節目でした。平成28年は、秦野高校創立90周年、平塚市金目の宗信寺で開校した三郡共立学校の草創から数えて130年を迎えました。オーストラリアのカジョリーナシニアカレッジの皆様が平成26年冬に秦野高校にやってくることになり、一気に進んだ国際交流は、今年いよいよ姉妹校協定を結びます。平成26年10月に立ち上げた、卒業生による在校生の支援システム「広陵人材バンク」の登録者は徐々に増え、「社会人講話」「社会人座談会」などへの協力につながっています。「全国の高校とのネットワーク」も広がり、その「つながり」を活用して、昨年夏には「東日本大震災 被災地交流ツアー」を実施することができました。

今年はいよいよ「プレ百年」事業に踏み出します。良き伝統を守るだけでなく、「新たな伝統づくり」に向けて、PTAと同窓会の協力をいただきながら、秦野高校は大きく前進します。皆さんの母校は、「できることは何でもやる」「調子に乗っている」「動きの見える」をモットーに、ますます元気で、楽しみな学校となります。

「高校生は3年間だけれども、卒業生は生きているかぎり」と言ってきました。秦野高

校で得たもの、つかんだものを土台として、これから皆さんが飛躍するのを、秦野高校職員一同、とても楽しみにしています。私たちは仲間であることを忘れないでください。

高校生活を締めくくる節目の本日、心をこめて、皆さんに1つの言葉を贈ります。「視野を広げると、面白い世界が見える」という言葉です。これまで繰り返して言ってきましたので、記憶に残っている人もいるでしょう。

秦野から全国、世界への地理的な視野に加えて、現在から未来への時間的な視野。現在、皆さんに見えている世界は、果てしなく広がる世界のほんの一部に過ぎません。育ってきた環境や文化が違うわけですから、これから出会う全国や世界の人たちの中には、皆さんの想像を超えるものを持っている人がたくさんいます。刺激を受けるでしょうし、考えを新たにすることも起こるでしょう。「将来なりたい自分の姿」を描き、「では、それを実現するために現在すべきことは何か？」を追い求める「未来起点」の考え方を実践することで、皆さんの未来は大きく変わる可能性をたくさん秘めています。

「できない理由を考える」のではなく、「できる方法を考える」のです。「チャンスの神様には前髪しかない」と言ってきました。前進するためには、「行動に移す」ことが欠かせません。どうぞ、一步を踏み出すことを恐れしないでください。

『「吐く」という漢字は、口から＋（プラス）も－（マイナス）も吐くけど、自分の言葉からマイナスを取ると、「叶う」という漢字になる。マイナス言葉を話さないようにして、自分の夢を叶えてほしい。』という、宮城県の友人からの言葉を、「全国の受験生へのエール」で紹介しました。「どうせ」「しょせん」という言葉は、マイナスのエネルギーしか発しないことをしっかりと認識してください。

最後に、皆さんに繰り返し言ってきた、江戸幕末の教育者である吉田松陰の言葉を紹介します。『夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。』

卒業生の皆さんが、高い志を持ち、夢の実現に向けて、充実した人生を送られることを期待しています。

さて、秦野高校がこれまで積極果敢な教育活動を展開することができたのは、生徒はもちろんですが、秦野高校の活動をご理解いただき、多大なご協力とご支援を賜りました保護者の皆様のおかげです。そして、秦野高校を支えてくださっている地域の皆様の応援のおかげです。多くの皆様のご厚意に対し、職員を代表して、お礼と感謝を申し上げます。どうもありがとうございます。

最後に、本日ご列席いただきました保護者の皆様、そしてお忙しい中をご出席いただきましたPTA会長をはじめ役員の皆様、同窓会長様、事務局長様、学校評議員の皆様、ご来賓の皆様に厚くお礼申し上げます。